

都市再生整備計画(第3回変更)

ぶんすい ちく だいに き
分水地区第二期

にいがた つばめし
新潟県 燕市

令和2年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	燕市	地区名	分水地区第二期	面積	301 ha
計画期間	平成27年度	～	令和1年度	交付期間	平成27年度	～	令和1年度

目標
大目標：「浸水被害が少なく、緑豊かな交流空間が充実し、魅力・活力にあふれる暮らしやすい市街地づくり」
目標1 地域住民の浸水被害に対する不安を払拭する雨水排水対策等による市街地の安心安全環境の向上
目標2 緑の空間を舞台とした地域住民等の交流機会、子育て世代への定住化の促進及び定住世帯等の確保

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 本市は、越後平野のほぼ中央、県都新潟市と長岡市の中間に位置している。 その中で本地区は市の南西部に位置し、分水駅を中心とした市街地と周辺地域であり、大河津分水路と新潟と長岡、柏崎を結ぶ国道116号が存在する。大河津分水路沿いの桜並木及び良寛ゆかりの地であることから観光の推進と国道116号周辺に工業・商業の導入によるまちづくりを進めてきた。 本地区は、高齢者人口が増加し活力が失われ中心市街地の賑わいが薄れていることから、都市再生整備計画を策定し、平成18年から22年までまちづくり交付金により総合的なまちづくりを展開し、若年層の定住と地域交流を促進するまちづくりに取り組み、地域交流センター、大河津分水さくら公園、道路築造などを整備してきた。整備の結果として市街地の整備道路周辺では、民間開発による宅地造成が進み、世帯数の増加に結びつき、交流センター等の整備施設は来館者が増加するなど地域交流が進んでいる。また、人口減少や少子高齢化の進展及び市街地中心部の活力低下が予想されることから、都市活力の源となる子育て世代の定住化を促進することにより、魅力・活力にあふれるまちづくりの推進並びに定住世帯の維持等を確保するにあたり、燕市に住むために住宅を取得する子育て世代等に対し、住宅取得費の一部を補助する「定住促進・まちなか支援事業」に取り組んでいる。 大河津分水路は、越後平野を洪水から守るために、大正11年につくられた人工河川で、「洗堰」や「可動堰」の操作により、現在洪水氾濫防御・水利用に大きな役割を果たし、地域の発展を支えている。しかし、施設の老朽化が進んだことから改築事業を実施し、平成14年に整備が終わった「洗堰」につづき、平成23年には「可動堰」が完了した。平成14年に大河津分水路周辺を大河津分水広域公園と位置付け、住民代表等によるワークショップで地域資源（新洗堰周辺施設や“おいらん道中”で有名な堤防の桜並木、良寛様の五合庵など）に考慮した、空間デザインがとりまとめられ、大河津分水路周辺の自然環境や文化遺産などを活かしながら、市民や観光客の憩いの場、広域交流の拠点となる親水空間としての整備が求められている。 また、当該地区は市街地であることから、歩行者の安全の確保や平成23年7月の新潟福島豪雨のように降雨量が大きな場合のほか、局地的に雨量の多い降雨状況が発生しており、対応が出来ずに浸水被害が発生するなど浸水被害の軽減などの暮らしやすい環境整備が求められている。
課題 「分水地区の市街地の定住魅力の向上」を図るために、降雨時の浸水被害の軽減や交流の場の整備を図るなど、地域住民が安心して暮らし、分水地区への誇りと愛着を高めてもらえるような市街地づくりやPRを行い、定住世帯の確保が必要である。 ・地区住民が快適に暮らすことができる降雨対策及び交通対策が必要である。 ・自然、地域資源を生かした交流の場の更なる整備が必要である。
将来ビジョン(中長期) 「燕市総合計画」 【市の将来像】：人と自然と産業が調和し、進化する燕市 【まちづくりの方針】 ・災害に強く、魅力ある住環境の整備 水害や地震など、災害への備えを行うことにより、市民が安心して暮らすことができる住環境の整備を行い、定住世帯の確保を進めます。 ・快適で安全な都市基盤づくり

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
新興野地区排水対策の浸水回数	回/年	新興野地区において集中豪雨が発生した場合の浸水回数	防災性の高い安全な市街地形成に向けて、雨水排水対策など、浸水被害軽減策を実施し、浸水回数の被害を減少させる。	4	平成21～25年度の平均	1	平成31年度
大河津分水さくら公園利用者数の増加	人/年	大河津分水さくら公園の休日の利用者数 (4月～11月開園期間)	公園内の施設整備や植栽等の充実を図ることにより、地域住民の利用及び広域からの利用が促進される。	3,100	平成25年度	4,600	平成31年度
分水小学校区まちづくり協議会地区の世帯数の増加	世帯/年	分水地区まちづくり協議会地区の世帯数	災害対策における住環境整備、道路等の都市基盤整備及び支援事業等のPRを図ることにより、世帯数の確保並びに増加が見込まれる。	3,010	平成21～25年度の平均	3,050	平成31年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1:市街地の安心安全環境の向上 ・近年の集中豪雨に対応するための排水対策 ・歩行者空間の整備等による交通対策		・島上幹線道路改良事業(基幹事業、燕市) ・新興野地区排水路整備事業(基幹事業、燕市)
整備方針2:地域住民等の交流機会や子育て支援機能の拡充 ・大河津分水路周辺の公園整備		・大河津分水さくら公園整備事業(基幹事業、燕市)

その他
・大河津分水周辺の公園整備に関して、住民・NPO法人等による継続的なまちづくり活動との連携や公園内の施設の維持管理・清掃等への住民等の参加を促す仕組みを検討するとともに、イベント等のまちの運営・管理等を行う組織の設置についても検討を行う。 ・都市活力の源となる子育て世代の定住化を促進することにより、魅力・活力にあふれるまちづくりの推進並びに定住世帯の維持等を確保するにあたり、燕市に住むために住宅を取得する子育て世代等に対し、支援事業等のPRを行う。 ・事後評価においては、地域住民等の暮らしやすさに対する評価を反映する。

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	323	交付限度額	129.2	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負分担	うち民負分担		
道路															
道路															
道路	市道島上幹線		燕市	直	167m	28	28	28	28	7	7	7		7	-
道路															
公園	大河津分水さくら公園		燕市	直	49,638㎡	27	31	27	29	63	63	63		63	-
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基1地域防災施設	排水路整備、地下式調整池整備		燕市	直	167m,1000m3	27	31	27	31	250	250	250		250	-
高質空間形成施設															
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										320	320	320	0	320	

...A

提議事業(継続地区の場合のみ記載)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負分担		交付対象 事業費
	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負分担	うち民負分担	
地域創造 支援事業														
事業活用調査	事業効果分析	-	燕市	直	-	31	31	31	31	3	3	3		3
まちづくり活動 推進事業														
合計										3	3	3	0	3
													合計(A+B)	323

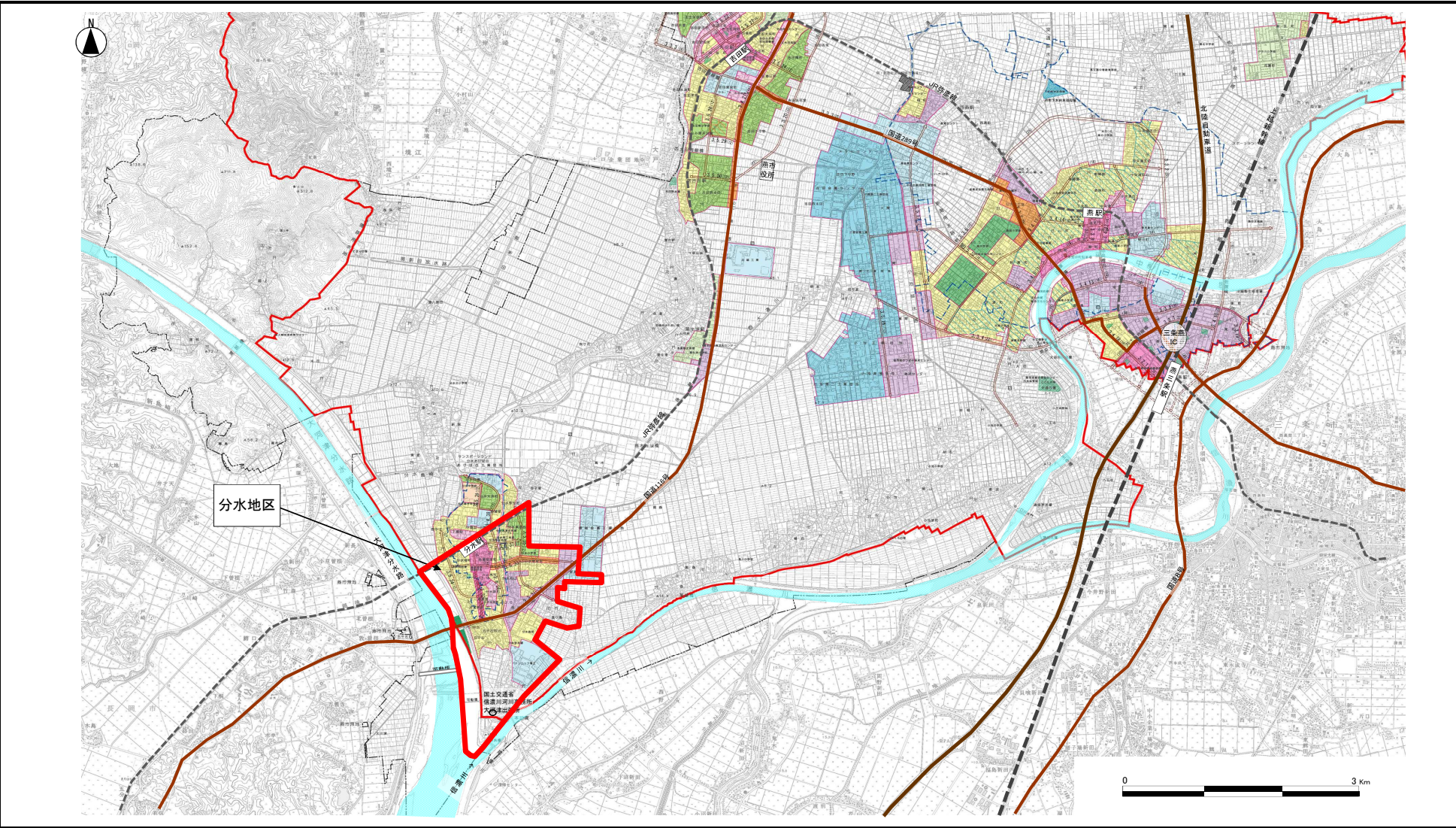
3 ...B

(参考) 関連事業

[illegible]

都市再生整備計画の区域

分水地区第二期(新潟県燕市)	面積	301 ha	区域	五千石・分水桜町一丁目～三丁目・地藏堂本町一丁目～三丁目・分水栄町・分水旭町一丁目～五丁目・分水大武新田一丁目～五丁目・分水向山一丁目～二丁目・ノノ山・分水東学校町・分水学校町・新興野・笹曲・分水新町一丁目～四丁目・分水水道町・大川津の全部と野中才・上諏訪・笈ヶ島の一部
----------------	----	--------	----	---



分水地区第二期(新潟県燕市) 整備方針概要図

目標	大目標:「浸水被害が少なく、緑豊かな交流空間が充実し魅力活力にあふれる暮らしやすい市街地づくり」 目標1:地域住民の浸水被害に対する不安を払拭する雨水排水対策等による市街地の安心安全環境の向上 目標2:緑の空間を舞台とした地域住民等の交流機会、子育て世代への定住化の促進及び定住世帯等の確保	代表的な指標	新興野地区排水対策の浸水回数 (回/年)	4 (26年度) → 1 (31年度)
			大河津分水さくら公園の利用者数(休日) (人/年)	3,100 (26年度) → 4,600 (31年度)
			分水小学校区まちづくり協議会地区の世帯数の増加 (世帯)	3,010 (26年度) → 3,050 (31年度)

